

全国よい仕事研究交流集会2018 分散会一覧

<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> 大野城事業所 台東地域福祉事業所フロイデ 流山地域福祉事業所梅の木 北本地域福祉事業所 <p>初日で話す大野城ほととの取り組みに加えて、北本は福祉用具から放課後等デイを立ち上げさらにその先に向かう取り組み。 流山梅の木は高齢者デイから学習支援に広がり、現在大人数の中学生を支え、来季は小学生まで。 台東は学童が始まり、1年目から地域のお掃除隊に加わり信頼を得る中でハウインを地域と企画するなど、若い世帯と地域を結ぶ。</p>	<p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> 長崎地域福祉事業所おたくさ 甲賀地域福祉事業所 未来の暮らしにつなげる事業所ほくぼ 浦安地域福祉事業所 <p>長崎は病院清掃から高齢者、障がい者・児、子育て支援と総合化・複合化が著しく、浦安も同様に学童から放デイや学習支援と事業が展開。 甲賀も多くの学童を、自分たちで選出した新責任者体制で運営し、地域課題にも向き合う。 ほくぼは障がい者アートを通じて、違いを受け止め、自らが変わる力を信頼し、その力を活かす協力関係づくりに取り組む。</p>	<p>11</p> <ul style="list-style-type: none"> 魚津地域福祉事業所 国分寺ネーブル地域福祉事業所 熊谷北事業所 滝沢事業所 <p>魚津では議員訪問に仲間が労協を説明するなかで改めて他人からの評価を聞き、自分たちの価値を学ぶ。 国分寺も10現場に分かれるも、全員会議や交換研修に取り組み、さらには児童・保護者も加わり200人での交流会の開催など積極的に仲間作りに取り組む。 熊谷では多様な人を地域で受け止める取り組みで、滝沢では放デイ開設の連鎖が続く。</p>
<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> 那覇地域福祉事業所かふう 豊中地域福祉事業所 AKALA nishiarai 地域福祉事業所 和光白子地域福祉事業所 <p>那覇では障がい児の子どもの主体性を高める企画を行い、自治力の醸成に取り組む。 和光も高齢者主体の活動から、障がい児に取り組むなかで、組合員がいきいきと働く姿に。 豊中は24時間通報で困難家庭を組合員が必至に支える。 西新井でも困難家庭をホームサポートを軸に、当事者や地域を巻き込んだサロンなど地域で支えるしくみに挑戦している。</p>	<p>7</p> <ul style="list-style-type: none"> ワーカーズコープぱーちえ ワーカーズコープ山口 宇都宮地域福祉事業所 八幡平地域福祉事業所 <p>山口は初めて？光市を出て地域のニーズに応えた放課後等デイづくりに挑戦し、多様な人との出会いがよいスタートに。ぱーちえは16の地域組織を支えるプラットフォームとなり、宇都宮も共生の総合福祉拠点へ向かう。 八幡平は片道40キロの送迎を1年間やり通し、行政からの支援を取り付ける。</p>	<p>12</p> <ul style="list-style-type: none"> 富士事業所 福祉の杜とくら地域福祉事業所 おおた・ぞうしき地域福祉事業所 地域福祉事業所WORKERS NET RINGS <p>とくらでは来館者の憩いの場としてカフェを社会連帯で始める。 大田は放デイの運営を再構築するなかで、子どもの成長から自分たちの成長へと向かっている。 富士もリングス同様に困難を抱える人達を受け止め、オーナーからのクレームもありながらも仲間と向き合い、仕事を通じて回復に向かう。</p>
<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> さんいんみらい事業所 川崎中部地域福祉事業所TACK こぶし保育園 前橋地域福祉事業所さわやか <p>理事長賞のさんいんみらいは次々と地域課題解決の仕事おこしで困窮者の受け入れをめざしている。 前橋も高齢者デイと保育を組み合わせ共生型に挑戦。 TACKでも障がい者を受け容れることで職場が明るくなり、こぶしでも職員の育成を自己肯定管を大事にした保育を通じてゆっくりと支えている。</p>	<p>8</p> <ul style="list-style-type: none"> 愛知三河事業所 座間地域福祉事業所オリーブ 立川事業所 旭川地域福祉事業所 <p>神居児童センターで地域包括と連携し、地域食堂に取り組み、空家の提供があり、放デイの開設へ。さらにほかの地域からも同様の依頼が入る。 三河のいっぽでも同様に子ども食堂に多数の地域市民が集まり第2、第3の拠点づくりに進む。 座間放デイもよい仕事を軸に仲間づくりなど立て直しを図っており、立川の自分たちで仕事拡大や困難者受け、新たな協同労働の運営目指す。</p>	<p>13</p> <ul style="list-style-type: none"> 鹿児島島谷山事業所 大田いこいの家 新宿若者総合相談支援事業所 北海道労協・北海道高齢協ワーカーズコープ札幌 <p>谷山は代表者会議でも圧巻の発言で、多様な若者たちとことん向き合い共に支え働く事業所づくりと、都会の新宿サポステのレンタル自転車ポートマネージメントに取り組む若者の実践とのコラボが楽しみ。 また生活支援で札幌の高齢者が元気で、丸ごと生活を支える独自事業に手ごたえを感じ、大田の同様のくらサボ事業や工務店?事業との実践交流も楽しみ。</p>
<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育所ぶどうの樹 杉並地域福祉事業所 塩竈地域福祉事業所 後志・石狩・空知地域福祉事業所 <p>ぶどうの樹では無認可保育園で10年やってきた地域で子どもを育てる保育を認可になり一段と推進。 杉並は親のニーズに応え、自前学童を開設し、また社会連帯に共感する方々と共に産直市場に取り組む。 余市では子ども食堂に集まる人たちが総合事業A型の担い手も目指す。 塩竈では開設1年目からプレーパークとの連携や、子ども食堂や放デイづくりに挑戦。</p>	<p>9</p> <ul style="list-style-type: none"> はんしんワーカーズコープ 松本事業所 日胆まちづくり地域福祉事業所 登米地域福祉事業所 <p>新たにワーカーズを立ち上げたはんしんは緑化・介護に加えて商店街で地域創造ラボや放デイを立ち上げ、地域から業者から地域づくりの協同組合に評価が変化。 松本も移動児童館などを通じて並柳団地自治会とも出会う。 ぼっけは毎月2000枚のアンケート配布の中から、居場所ができ、登米も達人サミットなど取り組むなかで地域が元気になり、住民主体の仕事おこしの可能性が広がる。</p>	<p>14</p> <ul style="list-style-type: none"> 渋谷わかば地域福祉事業所 深川みなも地域福祉事業所 東葛地域福祉事業所 大仙事業所 <p>笹幡保育園の親と向き合い自分たちの保育園が必要とする話し合いは圧巻で、リングスと組んだ仲間の受け入れも進む。 深川では2期連続して老人大学の受講生自らがカフェづくりに取り組み、東葛でも多様な若者が清掃現場に集まるなど、元気な高齢者や若者の主体性が生まれている。 大仙の清掃から障害者就労への挑戦も悩みながら地域の声に応えようとしている。</p>
<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> 草津地域福祉事業所みんなの家 下越事業所 板橋学童 横浜戸塚地域福祉事業所であいの家 <p>草津では高齢者・学童・障がい児と事業が展開するなかで、「共に生きる」方針がエリア全体で浸透してきている。 下越では若者支援の企業ネットワークや親父の会など地域で支える地域づくりに取り組む。 板橋でも制度の葛藤の中で地域サポーターと共に子どもの成長を見守る。 であいで終の住処を完成させ、最後まで共にくらす地域を目指す。</p>	<p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> 佐賀地域福祉事業所夢根っこ 三重県健康福祉生活協同組合 鎌倉事業所 八王子学童事業所 <p>佐賀では食事業の中で若者を受け止め、廃校利用など展開し、障がい者の共同住宅の必要性に向き合う。 鎌倉では老人福祉センターの運営から移送問題に格闘しているが、三重の福祉移送拡大が参考に。 三重はばらばらだった拠点をまとめて「魚市」に取り組むなかで仲間作りや地域づくりが進み、八王子でも8現場で辞めない組織づくりに挑戦。</p>	<p>15</p> <ul style="list-style-type: none"> 労協ながの ころぼっくるながの 文京もえぎ根津地域福祉事業所 玉ノ井プラザあゆみの舎 ワーカーズコープちば らいあっぷ習志野 <p>労協ながのころぼっくるは、長年にわたり食事業として経営も成り立たせながら事業を拡げ、最近では困難な方を支える取り組みも。 根津では人財確保を自分たちで取り組み、揃う中でお互いの仕事が見え連携が始まる。 習志野では学習支援の学生が組合員となる実践が始まる。 あゆみの舎でも、地域活動に参加し信頼を得る中で農園づくりなど地域づくりに挑戦。</p>